

日本の鉄道システムとその乗り方

日本では、大変優れた鉄道・電車システムが発達しています。ここでは、東京をはじめ、さまざまな都市で利用されている、3種類の鉄道システムとその利用にあたってのアドバイスをご紹介します。

1) 長距離都市間鉄道

JRグループ（“Japan Railways”（ジェイアール））は、新幹線を含む長距離都市間鉄道システムを運行しています。都市間鉄道は、日本全国主要都市をつなぎ、飛行機を使わずに東京から名古屋、京都、大阪、神戸、広島、博多、長野、新潟、仙台、青森、札幌などの主要都市に行くことができます。

<アドバイス>

- 長距離都市間鉄道を使用する場合、JR 駅または旅行代理店で、前もって切符を購入し、座席の予約をすることをお勧めします。中央大学の学生は、多摩キャンパス内の中央大学生協で切符の購入、座席の予約ができます。
- 日本を「一時滞在者」の入国資格で訪問する場合、JRグループが発行をしている、特別企画乗車券「Japan Railpass」を購入することによって、運賃割引を利用することが出来ます。「Japan Railpass」は日本国内では購入できませんので、出国前に購入してから来日してください。
- 長距離都市間鉄道の車内では、飲食することができます。様々な種類の駅弁が駅や電車内で販売されています。

2) 短距離都市間鉄道と都市内鉄道

JRと私鉄は短距離都市間鉄道と都市内鉄道を運行しています。世界の大都市鉄道交通機関に比べて、日本では、各都市内鉄道が非常に発達しています。

3) 地下鉄

東京、横浜、名古屋、京都、大阪などの主要都市では、地下鉄も走っています。東京の地下鉄の多くは、短距離都市間鉄道線に直結しています。

<アドバイス>

短距離都市間鉄道、都市内鉄道及び地下鉄を利用するには、その都度切符を購入する方法と、Suica や Pasma のような前払い式 IC カードを購入しそれを使用する方法があります。

切符をその都度購入する方法

- 乗車駅では、行き先の駅と料金を切符販売機の上にある路線図で確認し、切符を購入します。
- 改札機に切符を入れます。このとき、切符が戻ってきますが、これは目的駅で再度必要になりますので、無くさず持っている必要があります。
- 行き先に応じたプラットフォームを駅構内の地図で確認し、電車に乗ります。
- 到着駅では、入ってきた時同様、改札機に切符を入れます。この際、切符は改札機で回収され、出てきません。

Suica、Pasma を購入する方法

- 切符販売機では、Suica または Pasma を購入することもできます。この IC カードは、あらかじめ入金（チャージ）をして使用します。
- 乗車駅では、Suica や Pasma を入口改札機の読み取り部にタッチするだけで、入場できます。切符を購入する必要はありません。
- 到着駅では、入場時同様、出口改札機の読み取り部にタッチするだけで、自動的に料金が清算されます。入金が必要な際は、改札口付近の切符販売機、もしくはチャージ機で入金できます。また、預り金（デポジット）はカード返却時に返金されます。

日本では、電車内では、他の乗客の迷惑にならないように、大声で会話をすることや、携帯電話での通話は控えるのがマナーとされています。